

# 平成30年度 第2回 釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議 次第

日時:平成30年11月5日(月)

午後1時30分～午後3時30分

場所:釧路市役所 防災庁舎5階  
災害対策本部室

## 1. 開会

・「釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議 設置要綱」第六条第二項の規定により、  
委員11名中8名出席につき、過半数の委員の出席があったため、当会議成立を確認。

## 2. 副市長あいさつ

## 3. 議事

### (1) 人口関係データについて【資料1】

・事務局より【資料1】をもとに説明あり。

委員より説明内容について質問あり

<以下、質疑応答【◎…議長 ○…委員 ●…オブザーバー ■…釧路市】>

◎②のグラフだが、15歳から19歳が増えた理由は何かあるか。

■色々要因は考えられるが、一番大きな要因と思われるのが、戸籍住民課で釧路公立大学と教育大学釧路校に出張して、転入届の受付をしている。公立大学は平成28年から始めており、平成29年の受付数が28年より非常に多かった。また教育大学は29年から始めているので、その部分がおそらく一番に大きいと考えている。

○今まで転入手続きをこななかった学生が、その処置によって転入手続きをしたという理解でよろしいか。

■そういう理解をしている。ただし今まで学生がどれだけ転入届をしていたのかまでは押さえていない。

◎今まで住民票の登録をせずに、地元に残したままであった学生が、出張して受付をすることで、釧路で住民登録をすることとなった結果が把握されたということ。

### (2) 総合戦略の数値目標と施策の進捗について【資料2】【資料3】【資料4】【資料5】

・事務局より、資料2～5を用いて、基本目標ごとに説明

【基本目標1】についての委員からの質問・意見

○市内総生産額について、統計の関係から平成26年度が最新となっているのは仕方のないことだが、KPIや施策については平成29年度や平成30年度の最新の数値や状況で評価されているため、数値目標とKPIと施策にタイムラグがありすぎてよし悪しの判断ができない。

施策やKPIの手応えから今後の数値目標に対しての見込み等を出すことが可能であれば判断もしやすいのではないかと。

これについては、いい方法があるのか、それともこういうものだとということで仕方がないことなのか。

◎GRPについては仕方がない。あとは通常だと鉱工業生産指数とか稼働率指数とかになるが、釧路市の場合は紙パとか生乳生産量とか基本の数字が出ている。あとは従業員数があるが、減ったりしていると、あまりよろしくない。今地域経済のプラス成長という、GRPが正しい指標になるだろうがKPIとなると難しい。

そうすると、鉱工業生産指数や紙パの生産量や生乳生産量などの市で揃え持っている数値を重ね合わせ、平成26年度と平成29年度を比較しながら状況を整理すると分かりやすいのかもかもしれない。

○施策の進捗については事業の詳細や結果は書かれているのだが、もう少しアウトカムよりの視点から、この事業を行うことでこのような効果があった等が書かれているとよいと思う。

また、KPIにどれだけ影響があったかというのは難しいとは思うので、事業の担当課として、「ある程度予想通りにできた」や「このような課題があつてうまくいかなかった」などの何か指標のようなものがあれば、課題が全く見えないので、よりわかりやすくなるのではないかと感じた。

■次回から検討したい。

## 【基本目標2】についての委員からの質問・意見

◎KPIの中で、MICEの推進のところで、国際、全国大会の開催件数が平成28年度が8件で、平成29年度が1件になっている。このへんのところをもう少し詳しく教えて頂きたい。

■こちらはスポーツ大会以外の数値をまとめたものになる。MICEの大会誘致は3年ないし5年前から誘致をしていかないと難しく、1年後、2年後まで予定が決まっているものである。平成29年度は例年来ていた大会がなかったり、誘致活動がまだ身を結んでいない状況があつたりしている。平成30年度は現在4件ほど予定している。国際大会は国と連携した誘致をしていかなければならないので、現在省庁周りなどの活動をしている。

○今行われている施策が数年後に結果を出すものであれば、先ほどの話で、平成30年度は4件ということで、資料のところに見込みで4件と表示するなど、実績だけではなく見込みの数値もKPIの表に示すべきではないか。また平成31年度の目標が15件で、それが現在達成可能かどうか、転入者の目標に関しても、平成31年度に8千人というのがあり、現状6千人ちょっとで推移しているのを見ると、今年と来年で8千までいくのかとなると、数字の推移をみるとなかなか難しいと感じている。それを踏まえて施策の中で、当初考えていなかったものを一步踏み込んで行うような動きがあるのか、あるいは、流れるに仕方がない部分があるということで、今後も現行の施策を遂行していくのか、先を見据えた動きをしっかりと見せていくことが大事だと思う。

■MICEに関して言うと、15件というのは非常に難しい。釧路で平均的に開催できるのが10件程度までとなっている。ただ、誘致活動していく中で開催が生まれるものも多々あったので、担当課としては高い目標をもっていった。しかし、現状平成31年度に15件というのは非常に難しいと聞いている。転入者についても人口減少していることを考えると難しいとは言いつつも、UJターン等現状の事業を進めていきながらできるだけ減少を止め、少しでも若い世代の多くの人を呼び込みたいと考えているので、引き続き頑張っていきたい。

○釧路の定住人口を伸ばしていくには、UIJターンの推進は新規就労者を増やす取組として大事なことだと思う。前回の会議で釧路の涼しい気候を生かしたサテライトオフィスの活用の話が出ていたと思うが、その事業についてはどの資料にも書かれていないと感じた。

事業として行われているのであれば、関連する事業は記載するべきだと思う。

■ここに書かれてはいないが、現在産業推進室の方でサテライトオフィスの事業をやっており、現在来年に向けての施策を考えているところ。全国でも色々なところでやっている中で、釧路の武器は先ほどお話をあつた涼しさだとは思うが、それプラス実は今関連して来ていただいている企業があるらしく、そこにお話を聞きながらどういう環境が必要なのかという聞き取りをしているという話を聞いている。来年事業化できるかは別の話だが、今後はそこを考えながら事業展開を進めていくものと思っている。

○MICEのところではスポーツ大会が数値として入っていないと伺ったが、スポーツ大会はもちろん釧路の競技力を上げたいとか、一流のスポーツを見せたいというのがあるだろうが、MICEとして人を呼び込むことも意識して開催していると思う。施策の中には阿寒の冬季スポーツの状況が書かれていることもあるので、スポーツ課として行っているスポーツ大会の誘致事業についても記載をしていく必要があるのではないかと。

■関連の施策ということで次回以降スポーツ課と調整し事業の進捗に記載する。ちなみにスポーツ大会については平成29年度は国際・全国大会でいうと13件。主に冬季スポーツ、阿寒でいうとスキー。一部でスケート。釧路でいうとスケートを中心とした競技が国際・全国大会として開催している。平成30年度の現状把握部分で言うと、9件ほど予定としてあると伺っている。

○UIJターンで合同企業説明会をしているということだが、場所はどちらで行われているのか。

■釧路のホテルの会場で開催している。

○釧路市外の地域で働いている人が、今後釧路に戻って生活をしたいと考えた時に、釧路で開催される企業説明会に来る人は少ないと思う。

ここ数年就職用の情報誌も全然効力がないと聞いていて、今の若い人はネットから情報を得ているので、もっとネット情報でのUIJターンの推進を検討していただければと思う。

近年企業の就業率についてはひっ迫した状況にあり、たくさんの人に釧路に戻ってきてほしいと切実に思っているため、市としても力を入れて頂きたい。

■それに関して、就職マッチング制度というのがインターネットを通じた制度になっており、釧路に就職をするということで名前や職種などを登録すると、釧路の登録企業とマッチングされて、相手の方に情報が送られるということを行っている。また、合同企業説明会には釧路以外の方も参加されていて、そういう方たちが熱心に個別相談会に参加されているという話を伺っている。確かにインターネットの強化も必要だとは思うが、地元の就職希望者にとっても合同企業説明会は大事なものとなっているので、そこはインターネットと両方をうまく使い分けながら進めていければと思うので、頂いた意見は原課にも伝えておきたい。

○施策の進捗に並んでいる事業を見ると、総合戦略に基づいて新たに事業を組立てているというものがあまりないのではないかと感じる。今まで行ってきた事業を総合戦略に合わせて書いているように見える。どの施策についても目新しさが無く、結果KPIに差が生じたり、結果が反映されなかったりしているのではないかと。

合同会社説明会もおっしゃる通り、東京なり札幌なり、その人たちにどれだけ効果的にPRすることができるのかということを考えると、インターネットというのも一つの有効な手段であるとは思いますが、もう少し強くアピールすることができるのではないかと。もちろん釧路の涼しさなども含めてになる。仕事をこの戦略に合わせて書き連ねるだけじゃなくて、本当に総合戦略を考えた新たな施策を、役所の皆さんだけに負わせるのもどうかと思うが、そういうことを考えるワーキングなども今後必要になってくると思う。

◎より効果的な施策かどうか、当然市役所の方たちが考えられているとは思いますが、そのへんのところをまだ発表はできないかもしれないが、より効果的な事業を考えているとかコメントの中であつたりすると、この会議の意味合いが出てくると思う。

### 【基本目標3】についての委員からの質問・意見

○今年の出生数は千人いきそうか。

■千人いくかどうかはわからないが、9月末までの段階で昨年と比較すると増えている。ただ何故昨年から落ち込んでいるかまではわからない。

◎合計特殊出生率で、全国と比べて北海道はかなり出生率が低い。その中で北海道平均に比べれば釧路市はいい方であるが、全国に比べてこの出生率が低いそもそもの理由は何か。女性の出産可能年齢の中でも、一番出産する年齢の人口が少ないとか、あるいは所得の部分でなかなか結婚できなくてこどもを作るところまでいかないとか、色々理由があり、背景によって施策を打たないと、実際実務レベルでどういうところに原因があるのか、仮説みたいなものがあるか。

■詳細なデータは持ち合わせていないが、離婚率が全道平均と比較して高いことも要因の一つと考えられる。

○釧路市の世代別の世帯年収とか見たことがないのでわからないが、多分子育て世代の世帯年収は相当厳しい状況にあると思う。特にひとり親世帯はかなり厳しい。

■今お話しされたとおり、ひとり親世帯が多い状況というところはあるかと思う。

○逆に日本全国で何かの取り組みを一生懸命していて、下げ止まっているような事例はないか。兵庫県明石市などはとにかく子育て支援に重点的に取り組んでいる。

■子育て世帯の転入増のところは、我々も押さえているが、特殊出生率になると、持ち合わせていない。

○高等教育機関への進学を考えた時に、学費プラス生活費の仕送りの部分がかかるので、やはりそれを考えたら二人が限界とか、そういうような声を聞く。

◎非常に難しい問題で、ただ世代別の子育て世代の年収とか、年収の部分は非常に重要だと思うので、そういうようなデータを整理された方がよろしいかと思う。

○この全体の計画の中で子育ての施策は実はすごく重要だと思っていて、子育て世代の人達の転入が増えるというのは、単純に人一人が増えるだけではなくて、もしかすると三人四人と増える要素もある

し、経済的なプラスも大きいので、ここがしっかり充実していることで、全体の計画の波及効果も大きいという印象がある。また釧路の子育て支援は充実しているのではないかという思いもあり、先ほどから転入とか人口を増やすという計画のなかで、子育ては子育てだけ、人口だったら人口を増やすという、別の施策だというふうに体系が分かれているが、実際には子育て施策が充実している側面があるので、それをPRすることによって人口が増えるという副次効果があるのではないかと。

もう一つ、近隣からもっと増やせるかなと思っている。実際にまちの規模から考えても、町よりも市のほうが充実している取り組みが結構あると思っている、ただそれがあまり知られていなくて、戦略的に人口を増やすとなると、実は割と即効性や効果性が高く、かつコストも低いと考えている。

■皆さんからいつも子育て環境がいいのにPRが足りないんじゃないかと、ご意見いただいているが、なかなかどうPRしたらよいか、そのあたりをもう一度担当課に伝えてPRについてもお話しさせていただく。

○先ほどのUIJなんかはすごく大きなインパクトがあると思う。30代半ばくらいの家族を持つ人が、UIJするという時に、子育て環境がすごく良いというのは、可能性がある中で、子育て環境が良いというだけではなくて、今建設業だとか、求職出してもなかなか人が集まらないところとマッチングできたらもう少し工夫ができる要素があるような気がする。

○子育て世代向けの戸建てを市が借り上げて、10年間くらい支援するのはどうか。財政的にはなかなか厳しいと了解はしているが。

○私の知人が昨年釧路に移住して、彼はITの技術者で、東京と釧路を行き来しながら、子育て世代で一人子どもがいるが、釧路で家を買って、そういうケースはあるのではないかなと思っている、そうすると3件4件だけでも、特集されている冊子とかがあつて、こんな素敵な暮らしが釧路にあるみたいなのが、ホームページにあるとか冊子にあるといいと思う。釧路の人にとってはすごくPRになると思う。釧路はいい街だったと気づいて、そういう若い方で、来てくれる人がいるということが、そういう意味ではプラスが大きいかなという感じがする。

◎子育てのところというのは、私もファミリーサポートとかこの数字を見ていてこんなに有利なところがあるというのは、東京に住んでいたなら全然わからなくて、その部分をUIJターンなんかの取り組みなどと一緒に情報化して、成功事例というか、そういう形で響くような取り組みをしてはどうか。こういう生活ができる、こういう人がいるということを、数字だけではなくて、わかりやすいような情報発信とか、UIJと子育てを合わせた形で情報発信するなど工夫が必要に思う。

### (3)総合戦略の施策とKPIの追加等について

・事務局より【資料6】【資料7】をもとに説明あり。

○KPIの実践型地域雇用創造事業による雇用創出数について、平成27年度から平成28年度の2年間で196人というKPIに対し、平成29年度から平成31年度の3年間で182人ということで、数字が下がっている印象を受けるが、どういうことか。

■有効求人倍率だとか、求人数、求職数などを見ると、当時から色々状況が変わっている。有効求人倍率も上がっていたりするので、そういうことを勘案してこのような数字になったと聞いている。

○これは3年間延長して、具体的な事業を引き続きやるということか、新しい何かをすることはしないのか。

■観光の分野が追加されたりなど、多少中身も変わっていると聞いている。まったく同じものをまた3年間やるということではないと聞いている。

○資料7を見ていて、今子育てと新規就業による人口増を目指そうという、すごく大きな課題があると思うが、その中で50ページに高等教育機関の卒業先の動向だとか、市内の残留数だとか鉦路市独自調査によるものが載っているが、2012年度で終わっている。これはすごく大事で、まさに今私たちがずっと話をしていたことに関係している新規就業に関する部分だと思う。2012年度で終わっていると今どうなっているのか全くわからない。これは独自調査でお金をかけてもやるべき内容なのではないかと思う。

また、14ページに新規求人状況が載っており、建設業だとか医療だとか産業別に色々載っているが、2009年度から2014年度にかけて非常に伸びている。今はもっと伸びていると思う。求人状況はすごくよくなっているはずなので。それについても市内において高卒が伸びているのか、大卒が求人として伸びているのか、男女など、どういう状況で求人がされているのかということをもう少し詳しく必要なのではないかと感じた。これから鉦路に残ってもらう人を増やすという部分で、調べていただいて、知っておく必要があると感じた。

■今回の追加に関しては施策とKPIのみ追加するというので、こちらの方は修正はしないという方針である。ただ、卒業生の市内残留数について正確な数字までは押さえていないが、統計はとっていて、平成28年度から平成29年度は伸びていたが、平成27年度のほうが数字としては多かった。毎年多い少ないを繰り返している状況である。今は正確なところまでは押さえていないが、次回の人口関係データのところでお示しできればと思う。

◎今回はKPIの追加の話なので、総合戦略自体の直しではないが、ただ、市内残留数とか新規求人状況のもう少し細かいデータ、年代別とか、今後の会議の中で、人口関係データなどでもし可能であればご紹介いただければと思う。

#### 4. 閉会

(了)